

③ その他経済援助一覧 (令和4年度に募集があったもの)

※ 下記は令和4年度の募集状況を示しております。申請する場合には、当該年度のCNS掲示を見逃さないようにしてください。

附番	対象			学部や専攻	奨学金名 団体名等	助成対象期間	助成額	出願資格等	申請締切	備考
	学部	修士課程	博士課程							
1	○	○	○		やまがた就職促進奨学金返還支援事業(産業人材確保枠)	助成候補者に認定された方が、大学等を卒業後、13か月以内に県内に居住、かつ3年間就業した場合に助成します。助成金は、山形県が奨学金の貸与機関に対し、繰上返還として一括で支払います。 ※就業4年目、5年目に居住・就業の要件を満たさなくなった場合は、県に助成金を返還する必要があります。	2万6千円×令和3年4月以降に奨学金の貸与を受けた月数を乗じた額、又は奨学金の返還残額のいずれか低い額を上限に支援します。 ・登録企業等に就業しなかった場合、助成金額は2分の1となります。 ・助成対象者が女性の場合は、上記の額に10万円を加算します。	次のA又はBのいずれかに該当する方で、かつ1、2の要件を満たす方が対象です。 A山形県内に居住し県内の高等学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程を卒業し、次に掲げる日本国内に所在する大学等に在学している方 ア大学院(修士課程及び博士課程前期を含む)、イ大学、ウ高等専門学校(第4、5学年及び専攻科に限る)、エ短期大学、オ専修学校専門課程、カ山形県立産業技術短期大学校、同庄内校、山形県立職業能力開発専門学校 B県内に所在する大学等に在学している方 1. 次の奨学金の貸与を受けている方 ア日本学生支援機構第一種奨学金(無利子)、イ日本学生支援機構第二種奨学金(有利子)、ウ県内市町村が実施する奨学金、エ技能者育成資金 2. 大学等を卒業後13か月以内に、山形県内に居住かつ登録企業等に正規雇用として就業し、その後5年間継続する見込みの方	令和4年6月30日(枠に余裕がある場合は2次～4次募集まであり)	(例) 4年制大学の場合：26,000円×48か月=1,248,000円を上限に支援します。
2	○	○	○		鹿児島県大学等奨学金返還支援	原則として、大学(学部)在学中に借り受けた機構奨学金又は、育英財団奨学金の全額。ただし、奨学金返還支援を満たす前に返還をした奨学金の額及び返還期限猶予をされた奨学金の額は支援対象外とする。 ※大学院に進学した場合は、在学中に借り受けたいずれか一つの奨学金の全額を支給対象とする。	次の①、②のいずれかに該当し、かつ③から⑥までのすべてに該当する者。 ①鹿児島県内(以下「県内」という)の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)、特別支援学校の高等部、高等専門学校及び専修学校(高等課程)を卒業した者。 ②鹿児島県外(以下「県外」という)の高等学校を卒業した者又は高等学校卒業程度認定試験合格者。(県内に生活の本拠を有する者の子等で、県内の中学校を卒業した者に限る。) ③大学又は大学院(以下「大学等」という)に在学し、令和6年3月(令和5年度中を含む)に大学等を卒業(修了)予定の者。 ④独立行政法人日本学生支援機構第一種奨学金(以下「機構奨学金」という)又は、公益財団法人鹿児島県育英財団大学等奨学金(以下「育英財団奨学金」という)の貸与を受けている者又は貸与を受けていた者。 ⑤大学等を卒業(修了)後、県内企業等に就職する意思があり、かつ、県内居住を希望する者。 ⑥鹿児島県等が実施する返還免除の制度が設けられている修学資金等を受給していない者。 ※大学等入学時に、当財団の大学等入学時奨学金(地方創成枠)の奨学生として採用され、送金を受けた者は申請できない。	令和4年8月5日から令和4年12月1日(期限延長)12月9日		
3	○	○	○		徳島県奨学金返還支援制度	1 助成候補者の認定を受けた方が、県内事業所で正規職員として通算3年以上就業した後に、申請に基づき支援の開始を決定します。 2 就業状況に応じて4年目から8年目までの間、各年度、助成金額の1/5を基本的に奨学金の返還にあてる費用として交付します。 3 3年就業後から毎年就業状況を確認し、正規職員として就業していない期間等がある場合は、1月につき助成金額の1/60を減額します。 4 奨学金の返還猶予の承認を受けている期間については、助成金の交付は行いません。	(1) 日本学生支援機構無利子奨学金又は当該奨学金の貸与基準に準じた無利子奨学金借受総額の1/2(既卒者については奨学金借受総額の1/2と奨学金返還残額(R5.3.31時点)のいずれか少ない額)【上限100万円】 (2) 日本学生支援機構有利子奨学金又は(1)以外に対象と認める奨学金借受総額の1/3(既卒者については奨学金借受総額の1/3と奨学金返還残額(R5.3.31時点)のいずれか少ない額)【上限70万円】 (1)(2)両方の奨学金貸与を受けた場合は(1)により算定した額とし、その額が70万円に満たない場合は、合算して70万円を上限に(2)により算定した額を加算します。		令和4年12月23日	
4	○	○	○		三重県奨学金返還支援事業	【指定地域枠】大学等を卒業後、就業し、指定地域に4年間居住した場合に助成予定額の1/3を交付し、8年間居住した場合に残額を交付します。 【業種指定枠】大学等を卒業後、県内の対象業種に就業し、県内に4年間居住した場合に助成予定額の1/3を交付し、8年間居住した場合に残額を交付します。	・学生の場合、在学中に借受予定の奨学金総額の1/4にあたる額(上限100万円)	(1)対象学年等:学生の場合、申請時に、大学等の最終学年またはその1年前の学年の在学中で、かつ、就業先が決まっていない方。 (2)居住地域: 【指定地域枠】指定地域への定住かつ企業・団体への就業を希望する方 【業種指定枠】指定業種のうち三重県内に本社がある企業・団体への就業かつ県内への定住を希望する方 (3)対象企業・対象業種:企業・団体で常勤雇用として就業を希望する方または個人事業主等として就業希望する方。ただし、公務員、暴力団関係法人および風俗営業等関係法人への就業者は除く。 (4)対象奨学金:日本学生支援機構第一種奨学金(無利子)またはこれに準ずる奨学金を借り入れ、返還予定の方。既卒者の場合は、申請時に返還中である方。 ※日本学生支援機構第二種奨学金(有利子)は対象外 (5)年齢:令和5年3月31日時点で35歳未満の方。	令和5年1月16日	(例) 在学中に借受予定の奨学金総額が400万円の場合 助成金額は、100万円となります。大学等を卒業後、就業し、対象地域に4年間居住した場合に33万円を交付し、8年間居住した場合に残り67万円を交付します。
5	○	○	○		京丹後市定住促進奨学金返還支援補助金(京都府)	継続して最大10年間	・補助対象期間に返還した奨学金額(元金及び利子含む)で月額3万円以内(上限36万円/年)を翌年度に交付(ただし、繰上償還・滞納繰越分は含まない。)	次の各号の要件に該当する者を募集対象とします。 1 大学等を卒業し、正規雇用の労働契約に基づき就業している者(国家公務員又は地方公務員として就業している場合を除く。)、継続した労働契約の締結を前提として期間の定めのある労働契約に基づき就業し、1週間の所定労働時間が20時間以上である者又は独立して自ら事業を営む者(事業を開始している場合に限る。) 2 認定申請する初年度の4月1日において、満30歳に満たない者 3 認定後の届出をする前までに定住を開始し、引き続き10年以上定住する意思を有する者 4 大学等の在学期間に奨学金の貸与を受け、卒業後に奨学金の返還を開始しており、かつ滞納していない者 5 市税(延滞金及び督促手数料を含む。)を滞納していない者 6 京丹後市暴力団排除条例(平成24年京丹後市条例第39号)第2条第4号に規定する暴力団員等及び暴力団員と密接な関係を有しない者	令和4年3月31日	最大10年間で360万円補助

③ その他経済援助一覧 (令和4年度に募集があったもの)

※ 下記は令和4年度の募集状況を示しております。申請する場合には、当該年度のCNS掲示を見逃さないようにしてください。

附番	対象			学部や専攻	奨学金名 団体名等	助成対象期間	助成額	出願資格等	申請締切	備考
	学部	修士課程	博士課程							
6		○		工学・理学・農学・薬学	青森県 あおもり若者定着奨学金返還支援制度	就職後3年後と、6年後の2回に分けて、県から直接、貸与期間に繰上返還。	・企業が設定 60万円 100万円 150万円 のいずれか	・大学・短大の卒業生(2023・2024年卒業見込み者含む)で、採用時に35歳未満の方 ・「日本学生支援機構」または「青森県育英奨学会」の奨学金利用者 ・青森県内で正規雇用されていない方		
7	○	○	○	工学・理学・農学・薬学	奈良県 大和郡山市奨学金返還支援制度	令和4年4月1日～令和7年3月31日	3年間最大54万円	次のすべてに該当する方 1) 大和郡山市に住所を有し、5年以上定住する意思のある方 2) 助成金申請初年度の4月1日に満30歳未満の方 3) 大学等を卒業後に遅滞なく行っている方 4) 世帯で市税等の滞納が無い方 5) 他の制度で、奨学金を対象とした助成・補助を受けていない方 6) 次のどちらかに該当する方 ア. 大和郡山市に本社を有する中小企業に正規雇用された方 イ. 一定の専門資格を有し、大和郡山市内の社会福祉事業所等で正規雇用されている方		
8	○	○	○	理学・工学系	山梨県 ものづくり人材 就業支援事業	・就職した年の翌年度から、借りた奨学金の8分の1を毎年受け取ることができます。 ・8年以上県内に勤務すれば、全額分の補助を受けることができます。 ・転勤などで一時的に県外に勤務した場合も、卒業後10年のうち8年間県内に勤務すれば満額が補助されます。	・大学等の在学時に、日本学生支援機構の奨学金として貸与を受けた額のうち、卒業前2年間に貸与を受けた額 ・大学などを卒業した後に県内企業で働いた期間に応じ、卒業前の2年間に借りた奨学金に対して補助を行います。	・申込日現在に、大学、大学院、高等専門学校のうち、理学部、工学部若しくはこれらに準ずる学部、研究科等に在学し、次のすべてに該当する学生 ・県内外の大学、大学院、高等専門学校は問わず、出身地は問いません。 一：独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金、第二種奨学金の貸与を受けていること。 二：令和3年度卒業予定者は令和4年9月末(令和4年度卒業予定者は令和5年9月末)までに、山梨県内の機械電子産業(HP掲載)の企業における、企画・開発、製造部門への就職を希望していること。 三：令和3年度卒業予定者は令和4年4月初日(令和4年度卒業予定者は令和5年4月初日)を、起点とした10年間に、8年間以上山梨県内に勤務し、かつ県内に定住する意向があること。	令和4年2月28日	※補助対象となる2年間の奨学金の額は個人差がありますが、最大で292万円(大学院生(博士))の補助を受けることができます。